えがお笑顔



2024年度 学校だより あやがわちょうりつしょうわしょうがっこう だい ごう 綾川町立昭和小学校 第4号 さっか し ほ がつむいかはっこう 作花 志保 9月6日発行

「自分は社会を変えることができる」「相談する力は一つの能力」と思える子に 9月2日の始業式に、子どもたちに下記のような話をしました。

へしぶりにみなさんとお会いできて、みなさんの元気な顔が見られて、とてもうれしい2学期のスタートになりました。今日は、みなさんに大きく2つのことをお伝えしたいと思います。

でと め かっかっか なつまつ つか おやこほうしさぎょう き 一つ目は、8月3日の夏祭りと24日の親子奉仕作業に来てくれてありがとうということです。

う年の夏祭りは、児童会のみなさんを中心に、みんなで踊れるブリンバンバンボンからスタートして盆踊り

を盛り上げてくれました。みなさんのことをいつも考えてくれている地域の方々が、とても喜ばれていましたよ。コロナ禍で地域のお祭りも三年間ありませんでしたが、子どもたちをはじめたくさんの昭和地区の人たちが集って、踊りや花火や屋台を楽しむ地域の行事が復活すると、地域に活気があふれてみんなが元気になります。みなさんの力や行動が、昭和地区の活性化につながることになりました





また、4年生以上のみなさんは、お家の人と一緒に、草抜きをしてくれましたね。暑い中、大文変だったと思いますが、大勢のみなさんの力で、ジャングルのようだった運動場がさっぱりして、気持ちよく2学期を迎えることができました。3年生までのみなさんの中にも、お姉さんやお兄さんと一緒に草を抜きに来てくれていた人がいました。みなさんのがんばりが、学校をよりよくしていくものになりました。

本当にありがとうございました。約束通り、4年生以上のクラスには超ビッグフラワーをお渡しします。こんな風に、子どもであっても、自分の考えや行動で、自分の身の周りの社会を変えることがみなさんにはできるのです。1学期から繰り返しお伝えしているように、自分自身を好きで、自分の考えや行動で周りをよりよく変えていくことのできる自分なんだという自信をもって2学期、がんばってほしいと思います。

ニつ首は、自分の気持ちに正直でいよう。もやもやして辛いことは、相談しよう。ということです。

どんなに自分のことが好きで、周りを変えていける自分であっても、生きていれば、家族のことや友達とのこと、勉強やスポーツのことについて、悩んだり、辛かったりするものです。そんな時、自分の気持ちを否定して、自分の中に閉じこもっていると、めちゃくちゃしんどくなって、前向きに考えられなくなってしまいます。だから、辛いときは、辛い。悲しいときは、悲しい。うれしいときは、うれしい。楽しいときは、楽しい。仲の良い友達や、信頼できる大人と、うれしい気持ちや悲しい気持ちを分かち合いましょう。そうすれば、うれしい気持ちは2倍になるし、悲しい気持ちは半分になります。魔法みたいに気持ちが変わります。

毎朝の「心の天気アンケート」もチェックして、自分の心を見つめる習慣をつけてほしいと思います。担任 ながたきせんせい かたし かんなの様子を見守っていますからね。

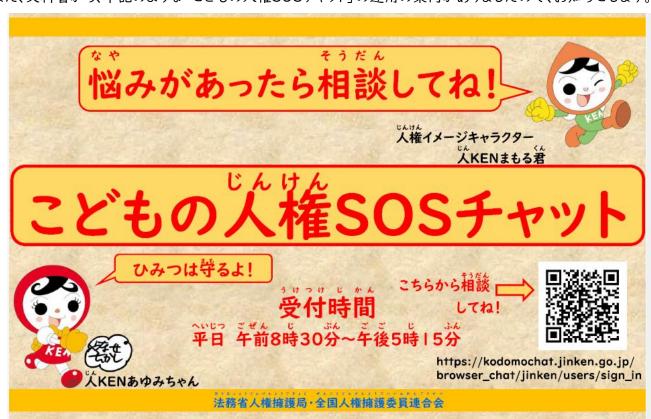


とはいえ、自分の気持ちに正直になったり、相談したりすることって、心を開いていないとできないですよね。打ち明けたことで、傷つかない。大丈夫って思えないとできないですよね。だから、在りのままの自分を出しても大丈夫なクラスや学校でないと駄目なんです。私の大好きなみなさん一人一人がありのままの自分で数室でいられて、それぞれの自分らしさを発揮し合える、「みんなちがってみんないい」と互いの自分らしさを認め合える、そんなクラスや学校にみんなの力でしていきましょう。

ただ、知らない人に聞いて欲しいこともあるかもしれません。国や県には、匿名で電話やメールで相談できるところもたくさんあります。そんな機関に相談することも一つの手です。自分一人で抱え込まずに、相談して問題を解決する力を身に付けましょう。

まだまだ暑い2学期ですが、心の元気は、体の元気からです。しっかり食べて、ぐっすり寝て、みんなでからを合わせて楽しい2学期にしましょう。

また、文科省から、下記のような「こどもの人権SOSチャット」の運用の案内がありましたので、お知らせします。



せんせい かていか じゅぎょうとう き 地域のみなさんがボランティア先生として、家庭科の授業等に来てくれます。



今年度から学校運営協議会(いわゆるコミュニティスクールのことです。)が発足し、それに伴い、地域学校協働本部設立の準備も進んでいます。今も、ゲートボールクラブでは、地域の方々が先生として来てくださっていますが、9月から6年生のミシンボランティア先生として、地域のみなさんが手助けに来てくださいます。

地域の方々と授業などの機会を通じて、心 を通わせることのできる交流ができたらと思い ます。